

○ 4-1 QSOパーティの日程について

コールサイン	2日-4日	2日-5日	2日-6日	2日-7日	その他	理由
JH8UUR				○		正月三が日も仕事の人が多く、7日までに延長されると其の間には必ず仕事が休みの日が有る為、参加しやすくなる。
JF3IYW				○		1月4日にはオール兵庫コンテストがある。週末にも、コンテストは開催されるであろう。変更案のどれを選択しても、他のコンテストの重複は避けられない。他のコンテストとの重複が避けられないのであれば、正月の胃腸をいたわる、七草粥の日まで、QSOパーティーの期間としてもよいのではないか。
JA3UVR				○		時間を広げ、参加と交信し易くする為。
JO3SET				○		実は、私もここ数年参加していません。毎年、年末から1月5～6日頃まで(小学校の冬休み)息子夫婦たちの帰省のため、QSOPに参加できる状態でないためです。出来れば、2日-8日希望
7L1EYY				○		正月時を無線だけに費やすのではなく家族・親戚との親睦や旅行などに使っていただき余裕を持ったスケジュールが好ましい為。
JA8ALT				○		新年の挨拶は正月三が日中に交わすのが常道だと思う方々が居る一方で、三が日中は親類縁者/知己との交流に時間が割かれるのと、正月三が日中もQSOに興じるのを家人に疎んじられる側面もあるので、HAM仲間との挨拶は三が日を過ぎた4日～7日の間にゆっくりと落ち着いた状況で、初QSOをしたいと思うので。
JH1ENK				○		① 社会の労働環境が大きく変わり、正月といえども働いている方は多数いる。 ② 社会基盤を支えるため職業によっては、休日・夜間でも多くの方が一日24時間のどこかの時間帯で働いているのが現在の社会である。 ③ アマチュア無線は大切な趣味、仕事を優先して、その後に楽しむものと心得る。 ④ QSOパーティとは新年を迎えたことを慶び、互いの健勝を祈るのが主旨だとしたら、多くの方々に参加してもらうことが必要。 ⑤ 多くの方々に参加してもらうには、開催期間を長くして参加機会を拡充することが良い。 ⑥ 松の内とは正月飾りを飾っておく期間を指すもので、概ね7日ころまでがその期間と認識されているようだ。QSOパーティもこの期間に準じて開催する。
JO1EUJ				○		三が日は親族挨拶回り、来客が多い。 また、交替制勤務などで現在の1月2日09:00～1月3日21:00では参加困難な方が居る。 2日09:00～7日21:00までにする事で、交替制勤務の方でも公休日1日含まれる確率が上がる。 本年の社員総会でも私は「2日09:00～7日21:00」を提言しているの、整合性を図る意味から「2日09:00～7日21:00」に賛同する。
JE7HOU				○		折角変更するなら期間を長く取った方が万人に都合が良いでしょう。長くなっても困る人はいないと思う。
JP1LRT				○		盆暮れ正月関係なく仕事をしているシフト勤務者でも、この期間であれば十分にチャンスがあると思います。交信数を競うわけでもなく、新年の挨拶とアクティビティを上げるための開催であるならば、期間は長くても良いかと思えます。
7N3GJC				○		1月2日09時から7日23時59分まで 社会の多様化により、人々の生活行動が一様でなくなった現在において正月休みも一律ではなくなっています。現在は1月1日から3日は一斉にとれる休日ではなくなっています。1月2日～3日の2日間にQSOの時間を確保することが難しいアマチュア無線家は結構います。日本の多くの地域では「松の内」というように1月7日までが新年の祝いの期間とされていますので、新年の賀詞交換としてのQSOパーティの期間として適当であると考えます。
JH8XTE				○		お正月は旅行に出たり家で家族とのんびり過ごしたり、日中から飲酒したり、他の事で何かと忙しいと思います。私は毎年の交信数が20局未満なので書類提出していません。 期間を長くすれば参加者(書類提出者)が増えるのではないかと思います。 2020年のQSOパーティーから実施してほしいと思います。
JK3UFY				○		できるだけ時間を長く取る方がいいと思います。勤め人は4日から仕事始めの人が多いためです。
JH3AGV				○		
JH8KYU				○		ここ20年以上参加しておらず、ステッカーは40年近くも持っていませんが、改正の趣旨と照らし合わせれば、長いに越したことはないと思えました。 私自身が参加しなくなったのも、三が日の運用が困難になったためでした。 実際この期間は、NYPが終わっていても、交信の際は新年の挨拶を交わすことが一般的と思われる、その記録をステッカー取得に活用できるようにすることには、何らの問題もないと考えます。
JA5QYR				○		1日延長などとすると他のTESTとの関係が気になる。得点を競わないので、できるだけ長い方が参加もしやすい。
JA3MMR				○		帰省や家族・来客で参加が難しいので現状は2日と3日であるがほとんど2日のみでQSOを達成し3日の運用は減少になっている。(3エリアVU帯)これはこれは正月の行事の為にしている。なので空いた時間を無線に使うため 長い時間(日数)をかけたほうがよいのではないか。(学校が始まるまで)他のコンテストとバッティングしても両方に得点になるので問題ないのではないか。
7N3OEP				○		以前は2日以内に20局を容易に達成できていました。しかし、昨今はなかなか「メインダイヤルを回しても相手局が見つからない」「CQが聞こえていたので応答するもCQ局に回答が伝わらずQSOに至らない」ことが増えてきました。このため、期間延長で20局達成が容易になることを願うこととしました。また、労働基準法では、週1日の休日が義務づけられていることから、正月に仕事を抱えている場合でも、1月2日から7日までのどこか1日でもQRV出来れば より多くの局が参加できると考えます。
JK1VUZ				○		ことし2019年のQSOパーティは19局で時間切れとなってしまいました。正月三が日は帰省などで行事が多く、ハンディ機を持って隙間時間で運用しましたが、残念ながら20局QSO達成できませんでした。新年の挨拶の期間として妥当な松の内(関東)の7日までとするのがよいと考えます。
JN4USF				○		帰省や家族・親戚と過ごす時間や勤務の都合もあるので最大限延長を希望致します
JH8FIH				○		以前、正月期間に仕事のため運用できないことがありステッカーを逃した経験がある。QSOパーティは、お祭りの意味合いが大きいので、正月明けまでの期間とするのが、妥当と考える。
JA1UMW				○		1月2日,3日はサービス業は出勤のため運用が困難です。7日まで開催であれば休日が取れない人はほほいなく思うので妥当だと思います。参加者が分散して交信しにくくなってしまふ可能性があるなら、全日参加特典を用意するのはどうでしょうか？会長から年賀状がもらえるとか。また、時間が9時-21時ですが、0時-23時59分にできないでしょうか？帰宅時間によっては21時終了では参加できません。
JR8DAG				○		現在は生活環境も多様化していること、人口の多い関東圏であれば交信の機会が増えると思われること、期間も1週間近くあれば、全ての人がどこかの時間で参加が可能となると思われるため。なお、今回の提案とは別にステッカー発行の条件を20局から5局ないし10局以上に変更することもあわせて提案する。理由は北海道の人口の少ない地域でVHFやUHFでの運用だと20局との交信が困難と思われるためである

コールサイン	2日-4日	2日-5日	2日-6日	2日-7日	その他	理由
J11ARI				○		(1)正月三が日は、帰省中で親戚などのあいさつ回りで多忙のためQRVできない。 (2)現在の日程では首都圏でも1月2日午前中でCQ局がほぼ途絶え、20QSO達成が困難である。ビギナーにとって自らCQを出すことは心理的ハードルが高いため、期間をのばすことによりベテラン勢のCQ局を増やすことが期待できる (3)1月7日までとすることにより、毎年かならず土日が入ることによりQSOのチャンスが増える。
JH1MBI				○		お正月は7日までという習慣による。
JK1USO				○		正月三が日は確かに忙しく無線にはまり込む時間がとりにくい。 かといってあまり長くても今までの条件で頑張ってきた局もあるし少しは緊張感とリスクもないと楽しくない。よって 4日21時の案がよい。親戚周りなどで無線ができない環境のため、これまで参加を見送ってきた7日程度まで期間延長を変更していただければ、是非参加したい。
JH3CCT				○		多数の会員が参加できる機会を担保することは大切。依って1月2日09時～7日21時までとすれば、今後「参加できない」という理由とはならないものと考えます。
JO7GVC				○		理由 延ばすことに特段の反対理由は無いから。ただ関東エリア以外でVHF帯メインで参加した場合は、QSOパーティーに参加している局を探すのは難しいと感じています。実際実家の大阪に帰省した際、50MHzで参加したりしますが、かなり苦勞をします。(小出力、小さいアンテナですからなおさら) また地元では、VHFに出ている局が極端に少なく、近所の知り合いに時間を合わせて声を掛けたらもうバンドには誰も出ていない状態になります。出ている局の絶対数が少ないのですから、期間を延ばせば解決する話ではありませんが短いよりはマシかと思えます。7日までという理由は単純に松の内の期間(関東)だからです。 期間を延ばしてほしいというリクエストが、どのあたりの層から出ている意見なのかを調べて提示してほしいです。(上の意見はVHF帯メインの人から出てるのかなと想像しています)
JO1FHM				○		
J11PJA				○		正月は実家に帰省しており、戻りが4日か5日になります。 HFについては固定局で申請しているので操作することができません。 移動局で申請しているV/Uについてはハンディ機であり、20局を地方で一日で達成するためには、高所に行かないとなかなか難しい状況です。当局実家は雪国では無いですが、雪国で高所というのはさらに厳しいと思います。 せっかくのニューイヤーパーティーですので関東の松の内(7日)まで延長してもらえると参加できる局も増えると思います。ぜひご検討をお願いします。
JR6IKD				○		5日間程度あれば忙しい年始でも何とか20QSO出来るのではと思います。あまり長いと20QSO済んでいる方達から相手されないとしますしパーティーでは無くなると思います。
JO1DGE				○		①【コンテストからパーティーへ】 コンテストというより、新年の顔合わせという意味合いがとて強いと思います。再会のチャンスを増やすためにも期間の大幅な延長に賛成です。 ②【様々な運用形態・運用場所での交信が可能になる】期間が長くなれば、帰省先での運用、移動運用などいろいろな運用ができ、新年に久しぶりの無線仲間との再会の機会が増えます。 ③【休みの過ごし方の多様化の中で、再会・交信のチャンスを増やしたい】 社会的に休みの期間が増え、正月に限ったことではありませんが、様々な生活スタイルがあります。36時間という短い時間ではなく、期間を長くすることで様々な無線仲間との交信の機会が十分に確保できます。そのことが、アマチュア無線活動へのいっそうの活性化に繋がります。 ※コンテストというとならなく、新年の挨拶期間としての「QSOパーティー」を提案します。
JA1MJN				○		→ 期間を最大限延長することで、年始の所要が 一段落した局の参加が見込めるため
JH7VVR				○		覚えやすいと思いました。
J17GBI				○		09時～21時 交信の機会を広げた方がよい。但し、地方コンテストとの共存ができるか、コンテスト主催者と協議が必要。(共催や、ダブルポイント化。協力しあう。)
JO3OMA				○		09時～21時 確かに参加局が減っているとの実感がありますので、より気楽に、様々な職種の方にも参加頂けるよう、土日が含まれる可能性を高めるためにも長めにすれば良いと思います。特に関西ではV/UHFのFMはかなり寂しい状況で、ハンディ機などV/UHFのみで開局された方は苦勞されているはず。(以下は余談) 私の場合は家族合わせて4名*20局で80局交信しなくてはならず、また移動運用でしか参加できないため、1局でも足りないともう一度移動運用に出かける必要があり、かなり神経を使っています。また再来年には5名に増える見込みで、私の場合はレアケースではありますが、少しでも期間は長い方が助かります。 (余談終わり) ● その他 基本的に「コンテストではない」ため、期間を長くした場合、20局終わった方は早々にいなくなってしまふ可能性が高くなります。それを防ぐ目的と、既に1度完成された方には新たなチャレンジ要素として、交信局数に応じてステッカーの色を変える、という案はいかがでしょうか。色分けの例: 20局まで → 青 20局以上50局以下 → 黄 50局以上100局以下 → 赤 100局以上200局以下 → 銀 200局以上 → 金12枚全て金・銀色だとそれなりにインパクトのある台紙だと思いますし、例えば青色だけで十二支完成したとしても、さらに上の色を目指して挑戦、という方も増えるでしょう。何種類も色を作るとなると予算の心配がありますが、大急ぎで送付する必要はないでしょうし、締め切り後に枚数を確定させてから印刷する、切手である程度負担してもらうなど、ある程度予算削減は可能だと思います。 もし実現するとなれば、金と銀は光沢のあるものの方が、より目立って良いと思います。12枚全てきらきらした金色だと圧巻でしょうね。
JO1GXP				○		09時～21時 現在の2日～3日は用事が立て込んで、20局と交信するのがやりくりで大変です。
JK7UST				○		09時～21時 なぜかという、「正月三が日は帰省や家族・来客の相手で参加が難しい」というのであれば、思い切って7日までに延ばせば、参加する局が増えると思います。
JF4CAD	○					1/4は官公庁の仕事始めにあたり、これ以上日程を延ばしても意味がないと思います。
JG1XUZ	○					・開始初日6:00-最終日24:00に拡大 ・20局→10局 ・バンド、モードが異なれば同一局を複数回カウントできるルール ・複数日運用のログ提出者に限定して”お年玉”抽選 日数的な延長の効果は限定的に思われますが、三が日にオンエア出来ない方もいらっしゃると思います。それ以上伸ばしてもあまり効果は無いように思います。時間を拡大するのとも一案かと思えます。 局数の少ない地域で言われることは、参加局数の少ないこと、圧倒的に初日の午前中に集中してしまいそれ以降の局数を伸ばせないという問題です。ルールを変更するという方法もあるかと思えます。 また、初日午前集中対策として、「さっさと上がる」組にも継続的にオンエアしてもらうために、複数日運用のログ提出者に限定して”お年玉”抽選のようなインセンティブはどうでしょうか。私は、VUハンディ機のみニューカマーに参加してもらうこと、達成して参加継続してもらうことがQSOパーティーの存続の為に重要と考えています。運用環境の地域間格差などを考慮したルール改善を強く希望します。
JG3LDD	○					ある程度日程を詰めないと参加局の密度が確保できないので、最大1日延長と考える

コールサイン	2日-4日	2日-5日	2日-6日	2日-7日	その他	理由
JG2QUM	○					3日まででは少し短いと思います。これくらいの方が余裕があってよいです。
JA6JHH	○					正月三が日は確かに忙しく無線にはまり込む時間がとりにくい。かといってあまり長くても今までの条件で頑張ってきた局もある少しは緊張感とリスクもないと楽しくない。よって 4日21時の案がよい。
JA1RRA	○					やはり正月に年頭の挨拶をかねた交信を行う「三が日」が適当と思いますが余裕を設けて4日までが良いと思います
7K1III	○					期間が長くなると参加者が集中しなくなって逆にQSOが難しくなる。
JJ5AKK	○					何かと忙しい時期でQRV時間が取れず、もう少しあればと感じていました。でも、1日延長でよいと思います。長くは不要です。
JJ1MRC	○					1月2日09時から4日21時まで 理由: 正月三が日は帰省や家族の対応のため時間が取りづらい。できれば土日が含まれることを望むが、年によっては曜日を考慮しての設定が難しいと思われ、まずは、4日21時までの延長を希望する。
JH1HGF	○					3日間あれば20局とのQSOは十分可能だと考えます。2日間では20局とのQSOが出来ず次の干支まで待つ事になり、翌年からのQSOパーティへの参加意欲が低下した
JA1TAZ	○					あまり長い期間では参加教区が分散してしまう
JA7NPV	○					このコンテストはそもそも点数を競うコンテストではないため、開始日時～終了日時までのスパンは2日間でなくてもよいと思う。 アマチュア無線の楽しみ方、家族との係りや生活様式の変化により【1月2日09時から4日21時まで】の変更でいいのではないと思う。
JR6KBF	○					期間を短時間とすることで、参加者が集中し、20局達成が容易になる。大都市ならともかく、地方都市のVUでは、期間を長くすることにより、逆に20局達成するために長時間運用が余儀なくされる(最悪の場合、20局達成できない)ことになる。
JA3TVQ	○					ゆっくりした方がよいが 5日くらいから 仕事が始まる所が多い。
JK1VZK	○					一般的な会社は4日もしくは5日が仕事始めです、正月休みの期間が好ましいと思います。だらだら日数を延ばす必要はないと思います。
JE0GIH	○					コンテスト期間が延長されると分散され逆に20局達成に時間がかかると思われる。年始のイベントがある中で幅を持たせる趣旨は理解できるが、あと1日延長くらいでよいと思う。
JH2UVB	○					あまり長くすると参加局がばらけて逆に20局交信がむつかしくなる。
JI7OED	○					正月三が日は帰省や家族・来客の相手で参加が難しい
JE8KKX	○					期間延長には賛成できるが、期間が長くなると、参加者がまばらになり、逆に20局交信達成が難しくなる。
JJ1MTG	○					仕事始めまで延ばすことにより参加しやすくなる。新年あいつのコンテストなので数を競うものではないから、のんびりとおとそ気分でやりたい人ものんびりと参加できると思う。これを1/7まで延ばすことも考えられるが、その場合は前期・後期と分けて違うJARL局が出るとかのイベントを用意しないと1/7頃にはさびしいものになってしまうだろう。そこまであれこれやれないのなら三が日プラスアルファくらいで留めておき、その傾向をみてもう少し期間を延ばすと効果があるかどうかを何年後かに再検討すればよいと思う。
JA2JWH	○					2日間では正月の忙しい中での参加は短すぎる為。
JR1BQJ	○					現状若しくは、長くても1月2日09時から4日21時まで 1期間が長くなれば、参加する局が分散されてしまい余計にQSO出来るチャンスが少なくなる。 現状でも、3日の夕方以降は、局数が少ない状態である。 2JARL会員の人数構成を見るとまだ、現役で働いている65才以下の会員が半分以上である。 仕事始めは、1月4日からの会社もあり、5日にはほとんどの会社は仕事を開始しているためQSOするチャンスは減る。
JK1JHU	○					期間の延長は局密度の低下を招くので、あまり長期間にしない方がよいと考える。長くても4日21時まで。3日間あって都合がつかないというのは個々人の問題でキリがない。20QSO達成が難しいレベルだと、期間を延長してもあまり解決にならない。達成のQSO数を減らすのが妥当。10QSOなど。
JL1LOF	○					①4日が仕事始めの方が多いと思うので長期にしても参加者増にはつながらない。 ②無線界の若年化推進を考えると仕事をしている人のことを考慮する必要がある。 ③だらだらとやると盛り上がり欠ける。
JA3IEZ	○					09時～21時 1日延ばすだけで十分ではないか、5日以降は普通仕事をしています。
JE0KBP	○					1月2日09時から4日21時まで 現在よりも24時間延長。あまり長いと緊張感がなくなってしまうし、「あけましておめでとう」とはいえなくなってしまうので。
JS6EAQ	○					09時から4日21時まで 4日からは仕事が始まりますし、これ以上伸ばしてもあまり効果は無いと思われる。 ただ、2日の20局達成したら終わりでのまま終了される方もいらっしゃるかと。アクティブユーザ向けに100局達成したら、シールの色を変えとか(ゴールドとか枠とか)するとよいのではないだろうか。
JH1EAF	○					1月2日09時から4日21時まで 現状の日程変更を希望するような特段の不都合さはそれほど感じたことはないが、1日程度の延長はあってもよいと思う。 期間が延びることにはどちらかといえば賛成。
JR8OGB		○				お正月三が日は、親戚回りしたりと結構忙しくまとまった時間を取るのが難しい。
JE4OFK		○				・1日(24時間)単位で、1月2日0:00～5日23:59までといった区切りのほうがわかりやすく、覚えやすくよいのではないだろうか。 ・上記の区切りが難しいということであれば、「1月2日09時から5日21時まで」の案に賛成します。 ・5日くらいまでに延長すれば、三が日に運用できない局も20局達成が可能と思われます。
JA4TUJ		○				期間の延長に賛同します。 ただ、日数については適切な時間が定義できません。 できれば、土日を含む期間が設定できれば良いと思っています。 その場合、開催日が毎年変動し紛らわしくなる恐れがありますので、開始は1月2日に定めて、現在の倍の4日間となる1月5日までを推します。
JL1JAH		○				理由をつけるならば、松が明けるまで(現在は7日)が良いですが、一般的に企業が活動を始めるのは4日か5日です。年によって、4日か土曜日となるような場合もありますので、最長で5日くらいまでが良いというのが理由です。

コールサイン	2日-4日	2日-5日	2日-6日	2日-7日	その他	理由
JO7MJS		○				資料内容同様に、1月2日の午後から20局QSOするのも最近では、時間を要する状況で、3日は、朝からでも20局QSOは相当な時間を有すると判断しています。(特に地方エリア) 個人的には1月2、3日の午前中は箱根駅伝がTV中継されており、それをTV観戦してからの参加でして、2日の14時頃から始めると、電話モードより、電信モードを利用しないと20局QSO達成が難しくなっております。5日まで延長されると、時間的には余裕が生まれ、気分的にも楽になると判断しています。
JO1KVS		○				期間延長には賛成します。毎年欠かさず参加したいという方でも、現在の日程では無理な年があつたりすると、12年連続参加が断たれ、一気にモチベーションが下がってしまうことが懸念されます。 私は、出れない人は短波ラジオで受信でもいいんですよ！と言って回っていますが、日程的に受信すら出来ないという方は救いようがありません。 一方デメリットとして期間を延長すると閑散としてしまい、結果交信チャンスを逃す、ということもあつちいます。季節的には7MHz帯に出れる方なら問題は無いのですが、特に地方でGWにのみ託す人は2日の開始直後が貴重な交信チャンスで、3日の最終ギリギリは全然交信ができない、という方も居ます。 これを補うために、20交信でやめないでキャンペーン(50、100、200交信で豪華景品が当たる)とか、集中交信タイム(毎日10時、13時、16時、19時とか)集中する時間を作るとか、一工夫あつちいます。 私はいつも最終2時間は、これから20交信、という人のために極力運用するようにしていました。
JF2QNM		○				初日を逃すと、20局達成は、結構しんどいですが、あと3日もあれば、そう負担にはならないと思います。これ以上長いと間延びするでしょう。
7N1PFW		○				三が日は帰省や初詣等といった正月行事も多く、現行の2日間弱では20QSO確保する為の時間が足りないと思われれます。5日21時までに延長することで倍になり、20QSO確保が容易になると考えられます。
7K1BIB		○				QSOパーティは局数を稼ぐコンテストではなく、アマチュア無線活性化のためのイベントの一つと位置づけ、できるだけ多様かつたくさんの人たちに出てもらえるようにした方がよいと考える。また、20年前に比べ局数は3分の1に減少しており、東京でも20局やるのはそれなりに大変なので、期間延長をお願いしたい。 アマチュア無線家は、タワーに7メガで簡単に20局できる人たちばかりではない。2日3日は仕事に出ている人も、近所親戚への挨拶に追われる人も、家族に拘束される子どももおり、このような人たちにも思いを寄せていただきたい。去年ハンディ機を1台買ってまだ付属ホイップしか持っていないニューカマーでもスーパーの屋上や高台から、家族を連れて旅行に出たお父さんでも旅先から、努力次第で20局のQSOを達成できるよう配慮していただきたい。 松の内の7日まで延長するの一案だが、間延びしてかえってQSOの機会を失う可能性がある。まずは5日までの延長をお願いしたい。 また、時間帯の再検討をお願いしたい。他のコンテストに合わせた「9時から21時」にこだわる必要は全くない。特に、日中出かけている人が夜の時間帯を使おうとすれば、21時終了では早すぎる。0時からの開始、24時までの延長をご検討いただきたい。
7L1WRK		○				理由として挙げられている「参加局数の減少によって20局QSO達成が難しい」「正月三が日は帰省や家族・来客の相手で参加が難しい」に同意いたします。 以下は提案になります。 記念ステッカーの条件である20局交信を達成すると終了してしまう局が多く、期間を延ばすことで参加できる時間が増えても交信相手がいなくなってしまうとせっかくのQSOパーティーを楽しむことができない恐れがあります。交信局数や参加日数に応じて何かボーナスポイント的なものが付くように考えていただけるとありがたいと思います。
JF1IIP		○				公立学校の3学期始業式を調べたところ、 ・東京では、昨年度は1/8を始業式にする学校が圧倒的多数 ・愛知では、昨年度は1/7を始業式にする学校が圧倒的多数 ・大阪市では、本年度は1/7が始業式 ・福岡市では、本年度は1/7が始業式 でした(降雪のある地域の学校は、始業式が遅い傾向にあるため除外)。 大都市圏のデータより、他地域でも1/7を始業式とする学校が多いと推測できます。しかしながら始業式の前日は登校の準備があるため、勉強のために時間的な猶予が必要だと思います。 またJARLでは、若年層の会員を増やす努力をしている最中であり、公立の小中高校のデータとはいえ、無視できないものと思います。 よって、主な公立学校の、始業式の前々日である1/5まで延長するのが妥当だと思います。
JE4YLV		○				現状の開催期間は年始特有の家族行事などが乱立する期間と完全に重複しており、オンエアする時間が確保できず参加を断念する曲が多くいるという実態があります。また、オンエアする時間が確保できず参加を断念する局が多くいるという実態があります。また、実家への帰省や旅行などを行っている可能性が高い期間でもあり、十分な設備を準備できず参加を断念するケースも多く見受けられます。QSOパーティは電波の上で多くのハム仲間と新年を祝いその年もアマチュア無線が大いに反映することを願うことが趣旨であるので、一般的に社会が正月休みとする期間は継続して開催し、結果的に通常のJARL主催コンテストより長い開催期間となつちまっても開催趣旨から逸脱しないと考えます。以上の理由により上記の意見を提案いたします。
JG2TSL		○				・正月三が日は帰省や家族・来客の相手で参加が難しい。(忙しい) ・長すぎると間延びする。
7M3EFK					□	お正月ですから3日間くらいが適当ではないか、あまり長いとかえつちだらけてしまう。
JA3QOS					□	私は現在のままで良いのではないかと考えていますが、もし延長するのなら7日までというのが良いと思います。確か、このQSOパーティが始まった1974年当時は1月2日のみで初詣にも旅行にも考慮が必要でした。その後1990年に3日まで延長されてずいぶん楽になったように覚えてます。最近ではRTTYのみとか1200MHzのみとかでもそれほど苦勞なく20局は出来ると思つちいます。とはいえ、確かに地方のVUのみで運用されている方には難しいのかも知れませんが、もしどうしても拡大が必要というのでしたら、1月4日はオール兵庫コンテストもありますので大きく7日までというのが良いと思います。 要望:なお私は1974年から欠かさず参加しステッカーをいただいています。3年後には干支が4周します。そこで3年後にはぜひ全国でどれくらいの方がこの4周を達成されたのか、発表していただきたいと思っています。
JA5EXN					□	元々は、ダラダラするという理由で現在のように短くなつち経緯があると思います。延長には、賛成ですが単に延長しても20局QSOした多くの局は、出なくなる可能性もありますので100局以上QSOした人には、pdfの賞状(紙だと金がかかるので)を出し、アクティビティを促すのは、いかがでしょうか？
JE7IDA					□	希望が多い期間に設定すれば良いと思います。
JF4CZJ					□	小職不参加につき、特に意見はございません。参加されている方のご意見で進められつちのが良いと思います。
JR9TUG					□	日程が延びたとしても、地方では参加局が少ないためさらに参加時間にばらつきが生じ、余計20QSOの達成が難しくなるのではないかと(特にVUSHF帯)
JE7DMH					□	V-U帯での達成は難しくなつちておりHF帯のQRVは必須といえる。 期間が長く成る事により参加者が分散し、交信のタイミングがどうなるかと、試験的に1/2-1/7に延長してみるのも一案ですが。

コールサイン	2日-4日	2日-5日	2日-6日	2日-7日	その他	理由
JH3AIV					1月1日00時から1月3日23時59分まで	正月で家族等の関係で正月三が日フルでの参加できるように変更願いたい。
JA1CTZ					1月1日00時から1月3日24時まで 期間中の交信局数達成条件の緩和も提案します。(例えば10局)	私もQSOパーティーに参加していますが、12支達成は本当に難しいです。毎年の参加、20局QSO達成は年始の予定次第で簡単に途切れてしまいます。故に12支達成者には本当に頭が下がります。期間については1月3日以降に延長する案も良いとは思いますが、それでは現役世代はあまり恩恵を受けられません。また、いつまでも正月気分と言うのも少し抵抗を感じます。「正月三が日は帰省や家族・来客の相手参加が難しい」との理由が挙げられていますが、この間のほんの少しの空き時間でも楽しめるようにしてもらえると参加しやすくなると思います。また、「参加局数の減少によって20局QSO達成が難しい」との事であれば、まずは実施期間の延長よりも交信局数達成条件を緩和する検討をすべきかと考えます。期間の延長は参加局数減少対策にはならないと考えます。
JR4FLW					1. 延長不要 2. 1月1日9時～3日21時まで 3. 1月1日9時～7日or10日21時	変更案は兵庫コンテストと被っており、調整が必要。 特に兵庫コンテストは以前1月3日だったのをQSOパーティの日程変更のため1月4日に変更させられた経緯があり、これ以上の日程変更は困難と考えます。伸ばすならマラソンコンテストのような感じで1週間もしくは10日間とすれば他のコンテストと被っても影響は少ないものと考えられます。
JK2CUT					1/1 00:00～1/4 21:00	期間延長に賛成です。お正月は色々忙しく、1/2～3の2日間にQRVできないことがあること、QSOパーティーはコンテスト(競技)ではないので、少し期間を広げてQSOする機会を増やすのは良いことだと思います。開始時刻は、紅白歌合戦が終わって除夜の鐘が鳴りだしたらスタートが良いと思います。終了時刻は、あまり延ばすと現役世代は仕事始めになってしまうので、NYPが持つ“あけおめ”感覚からズレが生じると思います。以上のことから、1/1 00:00～1/4 21:00までが良いと思います。QSO局数は現行のまま20局で良いと思います。
7L2LEG					1/1・0:00-1/7・21:00	:2日のUTC0:00からとか恰好つけて開始時間を設定するのではなく、機会提供を考えるなら、開始時間も前倒して、1日の0:00(JST)から始めればよい。終わりの時間も、案の最大時間を支持する。終わりの時間もいつそのこと、1月31日23:59までとしてはどうか。
JR3CNQ					1/1-1/3	開催日を延長するのも良いが1月1日からスタートするのも良いのではないかと？うしろに伸ばすより前に持ってくる方が良い(1/1-1/3)1/4日から会社出勤する方もいる。1/1日は在宅率が高い。20QSOのままが良い、ノルマを達成してしまうとQRTする者が多いので、開催中の運用局が少なくなってしまう。
JH4UYB					1/1-1/4	1月4日21時まで 長期化しても終盤は参加局が少なくQSO相手に苦労するため。むしろ1月1日から開催でも可と考えます。
J11BIF					1/1-1/7	新年のQSOは1月7日までをお願いします。この期間は世間一般「松の内」です。
JO1FRI					1/2 9時-1/3 21時・最初の土曜 09～日曜 21時まで ただし、1/2が土日の場合は、翌週の土日	1/7まででは長すぎるが、相手が見つからない。時間を決めた行ったほうが相手が見つかりやすいのでは。
JA3HBF					1月1日 00時～1月4日 21時 局数を減らすとか言う噂も耳にするがこれは絶対にダメ!	元日は結構することも無く家でゴロゴロしている人が多いようだ。役所や金融機関は4日から仕事であり、こちらの関西地方の民間企業は5日初出の所が多い。従って5日以降後に伸ばしても参加局がさほど多くなるとは思えない。
JA3MIB					1月1日 0時00分から3日23時59分の期間	理由は、年始のお客とか初詣は2日と3日になって家族とのSWRを考えると、元旦は比較的に時間が作りやすい。またお正月三が日が年始あいさつをしらけないでできる。
JN1NCB					1月1日(元旦)9時から1月5日21時まで	スタート日を2日から、に拘る必要はなく、元日からよい。大昔の元日は家族でのんびりする、来客を迎える、近所や親せき廻りする、初詣をする、などで忙しかったであろうが、今はそうとは限らない。エンドは、3日では逆に正月の行事や帰省などに追われて無線ができない場合が多いので、落ち着ける5日までとすることが妥当である。(6日や7日までであっても構わないが、長すぎるかもしれないので、敢えて希望しない。)
JL3DYW					1月1日～3日	QSOパーティ開催日の延長について :開催日程の延長するのは良いと思うが、1月4日以降は勤務する者が多くなり参加者が減少すると考える。1日は在宅するものも多いので、変更案よりも開催を前倒しにして1月1日～3日を要望する。20QSOについては従来通りにして貰いたい。ノルマを達成してしまうとQRTする者が多いので、開催中の運用局が少なくなってしまう。
JG1SNX					1月1日0:00から1月7日23:59まで	・三が日は家族関連の行事などで思ったより時間がとれない ・正月は「松の内」と考えれば7日間あってもよい ・QSOパーティーは他のコンテストと違い、参加自体に新年の挨拶を通じた会員の親睦を図る目的があるので、期間を限定的にするよりは広く取ったほうが良い ・マンション在住でハンディ機しか使えないため移動運用しているが天候が悪いと出られないし、出られても日が射す温かい時間帯に限られる ・忘中に三が日の運用は心理的に抵抗があるが4日以降ならまだよい ・20ポイントはシールがもらえる最低条件として、例えばニューカマーで最多の人に賞状を出したり、自己申告最年長者にお祝いをしたり、お正月らしさを加えてコンテストとは違った味を出して、参加者を増やすほうがよい。
JJ3EBU					1月1日00:00～1月3日23:59	① 開催期間を1月1日00:00～1月3日23:59とすることを提案します。 単に期間を延長しただけでは、参加者がバラけてQSOパーティーが盛り上がっていない印象を受けます。 「QSOパーティーが盛り上がっていない」→「ヤル気がなくなる」→「結局電波を出さない」という図式になり、交信局増にはつながらないでしょう。 4日からは仕事という人も多くいます。そういう人は結局NYPに参加できないので、延長する意味がありません。 1月3日でさえ運用局は急に少なくなるので、闇雲に期間を延長しても交信数が増えるかどうかは疑問。 もし期間を伸ばすなら、ほとんどの人が休日となっている三が日での開催を提案します。② 交信局を増やすなら、20局以上交信した局に対してなんらかのインセンティブを与えれば良いのではないのでしょうか。 例えば100局以上交信した局をJARL webで発表するとか。 そうすれば20局以上交信する局が増えて、結果的に交信するチャンスが増えることにつながります。
JA1IAZ					1月1日00:00～1月7日23:59	期間の延長は賛成。 大晦日から元旦にかけて、新年の挨拶QSOも結構あるので、1月2日からではなく、松の内の1月1日から7日までにしてはどうか。
JA3EIZ					1月1日00:00から始まり1月4日の21:00	元の日程が決まった過程は知らないが、いわゆる正月ということであれば1月1日00:00から始まり1月4日の21:00まででも良いのではないかと。5日以降になると仕事始めで無線機の前に座っている時間が限られて交信局数が劇的に増えるとも思えない。



コールサイン	2日-4日	2日-5日	2日-6日	2日-7日	その他	理由
JP3AQR					1月1日00時から3日23時59分まで	年が明けた瞬間ってテンションも上がるし、特別感があって参加したい意欲が湧く気がする。それと「正月三が日」の間が パーティ!! って感じがあっていいと思う。
JR8PPG					1月1日00時から5日23時59分までではどうか	昨今では5日くらいまで休みの方が多くなっているし、土日にあたることも多いため適当では無いと思う。別に2日9時や21時にこだわる必要も無いでしょう。
JA1QQU					1月1日09:00~4日21:00	当局のように関東地方の都市部に在住している場合は、20局のノルマは困難ではありませんが、地方の場合、特にVHF・UHF帯のみの局は困難が予想されます。この意味で期間延長に賛成です。個人的には1月1日も含めて載きたいと思います。どちらかというと元日は、当方も親戚・取引先等も、年賀の訪問を避ける習慣とします。在宅でコンテスト参加も可能と思います。
JH6WHN					1月1日09時~7日21時	2日からとする理由は何か？単純に期間を広げるのであれば、1週間とするのが良いと考えます。「参加局数の減少によって20局QSO達成が難しい」と言う理由が理解できません。QSOパーティはバンドを問われていないので、本当に20局達成したいのであれば、可能な時間に色々なバンドで運用すれば可能と思われる。「参加局数の減少によって20局QSO達成が難しい」状況が多数あるのであれば、20局以上を10局以上と変更することは問題があるのでしょうか。
JR3QHQ					1月1日09時から3日21時まで	QSOパーティーは、コンテストではないので会員の要望を100%聞いてもだれも文句を言いません。みんなが楽しく20局以上できるルールを創れば良いことです。変更案は、1つぬけています。1月1日09時から3日21時まで。
JG5DHX					1月1日09時から4日21時まで	1日は案外自由な時間が多く、新年のスタートとしてもふさわしい。
JK1MLY					1月1日09時から7日21時まで	広い期間にするとともに、ステッカーの発行として現在のものに加えて、交信数が100局を超えた、AJDを達成した、1月2日09時から21時までの集中タイムだけで達成したといった特記を追加できませんか。 これならステッカーを集めている人が途切れてしまうことの防止に加え、今までと同じように楽しみたい人はむかしと同じ短期間で頑張ってみる楽しみ方もできると思います。
JR4ERC					1月1日0時から1月31日24時まで	中途半端に伸ばさず、マラソンコンテストに変更
JQ1VDJ					1月1日0時から1月3日24時の3日間	時間を延長(変更)するなら 1月1日0時から1月3日24時の3日間かどうか。QSOパーティーは、お正月に長年にわたり行われてきました。今更、あまり後ろまで日程伸ばす必要性はないと思います。局数減少のことを言うのであれば10局で達成とすれば日程変更の必要もないと思います。
JJ1HHJ					1月1日0時から3日24時までもしくは「1月1日0時から7日24時まで	規約 <a href="https://www.jarl.org/Japanese/1_Tanoshimo/1-1_Contest/qp/qsoparty.htm">https://www.jarl.org/Japanese/1_Tanoshimo/1-1_Contest/qp/qsoparty.htm</a> 前文にも「新年のごあいさつ」とあるように、開催趣旨は電波を用いたの賀詞交換であると理解しています。現行の36時間から延長するのであれば、正月三が日や、(より長い地方があることは承知しておりますが)ある程度の範囲内ということ)7日までの松の内をその期間とするのが、新春らしさを強調し、且つ交信・受信の機会を増やせる一つの方法ではないでしょうか。併せて、現在は開始時刻が9時、終了時刻が21時に設定されていることが、日中の往訪・来訪などが参加の阻害要因に挙げられる一因だと思います。正月も仕事がある方や、夜勤等に従事されている方のことをも考慮すると、限定なしに0時から24時までとする方が、ご自身の都合の付けられる時間帯に参加者を多少でも増やせるかと考えます。 なお、いずれの変更案であっても、期間を延長することで、アクティブな局ほど早々に20局をクリアしてしまい、延びた時間はより閑散としてしまう虞があります。そのことを解消するには、20局でステッカーをプレゼントする他、例えば50局や100局でよりカラフルなステッカーが手に入るとか、ビューロ会員に限り別途参加証が発行されるとか、多少の経費増にはなりますが、20局達成後もある程度の時間続けることのインセンティブが用意されると良いと思います。
JE1BMJ					1月1日0時から7日23時59分まで	NYPはコンテストではなく、長期間の方がより多くの参加者を望めるから。またテレビの地デジ化によってインターフェアも減少しているので特に日時を選ばなくとも良い。逆に、長期間にすることで、各局はインターフェアの可能性の低い時間帯に運用できる。ステッカー発行に必要な交信局数は従来通り、20局以上を提案する。
JR1SIM					1月1日0時から7日24時まで	「松の内」と呼ばれるのは7日までが一般的であり、必ず土曜日曜が含まれ交信の機会も増えるから。
JA6HQQ					1月1日の0時から1月7日の24時まで	その他以外の変更案が1月2日09時から開始、終了が4~7日の21時となっているが、開始を2日09時にしている理由と終了を21時にしている理由が理解できない。制定した当時はそれなりの理由があったのかもしれないが、今は生活スタイルが多様になっており、それぞれに都合の良い日・時間帯で交信させてほしい。新年になってすぐにパーティーが始まって不都合があるのか？ 正月三が日では交信の機会が作れない人も多いため、松の内である7日までとするのが良いと考える。
JL3JRY					1月1日を開催日に加えることを提案	
JH1XUP					1月1日午前0時~1月7日23:59まで	これはコンテストではないので、1月1日午前0時~1月7日23:59まで(世の中的に正月は7日までと考えられているので)とすべきです。
JA1MUY					1月2日00:00~1月3日23:59	一般的には4日より仕事が始まる会社が多いと思います。日程を延ばすことによって参加者が増えるという考え方には賛成できません。時間を延長することを提案いたします。
JG2BVO					1月2日09:00(JST)-1月3日21:00(JST) 従前どおり全バンド 1月4日09:00(JST)-1月4日21:00(JST) VUHFのみ	期間が長すぎると、20局やってしまった局は出てこなくなる。開催期間の後半は相手を探すのに苦労するのではないかと。期間は延長するが、後半は対象バンドをしぼって行く。特に田舎のV/UHF帯のみ免許を受けている局は相手を探すのに相当苦労している。あるいは1月2,3日とその次の週末などもよいかもしれない。(2020年の合1月3,4となる)
JK2XXK					1月2日09時~4日09時 1月1日09時~4日09時	参加要件を異なる10局との交受信に緩和 QSOパーティーは30年ほど前、期間が短く参加要件(異なる20局との交受信)を満たすのが難しいという理由で期間が拡大(1月2日09時~21時から1月2日09時~3日21時と12時間から36時間に拡大)されたことを記憶しています。この結果それまで毎年1月3日に開催されていたオール兵庫コンテスト(主催:JARL兵庫支部)が、重複開催を嫌って開催日を1月4日に変更する一幕もありました。時代が移り変わることでQSOパーティを取り巻く環境もまた移り変わっていることは承知します。しかし先述の経緯を踏まえると、オール兵庫コンテストの開催日変更を再び兵庫支部へ強いるような期間の拡大は、後述するフィールドデーの日程変更について「(他のコンテストに)割り込むのは控えたい」という姿勢とは矛盾するものであり、いかがなものかと考えます。オール兵庫コンテストとの兼ね合いを考慮しつつ、QSOパーティに寄せられている要望をある程度反映させるには、拙案は一考の価値ありではないかと考えます。
JM1EKM					1月2日09時から3日21時まで	現状以上のQSOパーティの期間延長は少ない局数が分散することが考えられ、今より達成は難しくなると考えられる。 1/4には兵庫コンテスト、その他期間限定のイベントなどのイベントも設定されており無駄だと考える。



コールサイン	2日-4日	2日-5日	2日-6日	2日-7日	その他	理由
JA7FKF					期間延長をしないほうが良い。	期間を延長しても薄まるだけです。それだけ20QSOするのがむずかしくなると思う。期間延長より、もっと魅力のある内容とするようなアイデアが必要だ。たとえば、12年間連続で参加した方をもっと敬意をもって発表するとか、12年間参加するということは、その間2度も再免許申請をしなければなりません。長くアマチュア無線を続けていただいたことに感謝する必要がある。台紙に張っただけでは、申請者本人しか12年間続けた来たことがわからない。委員の方でもっと魅力的にするアイデアを出してほしい。
JH1YDT					月2日09時から1月10日21時	従前はいわゆる正月三が日中の開催であり、これは、大半の人にとって年末年始休暇中であることから多くの参加局数が望めるという理由からの設定であろうと推察される。ここで、1月4日以降へ数日間の期間延長を実施したところで、すでに仕事始めを過ぎているため、参加局数の増大は見込まれない。尤も、年によって日程に土・日曜が含まれる場合もあり、その年は参加局の増大が見込まれるが、変動的である。また、学校社团局にとっては、正月三が日およびその後数日間は校舎立入禁止となっている場合があり、参加が困難であった。この点も、若者アマチュア線家*2への運用機会提供の観点から、考慮すべきと考える。本案は、上記事情を勘案し、より多くの人にとっての参加し易さを考え、次の様に設定したものである。・正月三が日のうち元日以外は、従前どおり開催日とする。・1月4日以降も開催を継続し、土曜日曜を必ず含むよう設定する。つまり、1月4日以降に一週間の開催期間を設ける。・開始時刻および終了時刻は、特段変更する必要がないと思われるため、従前どおりとする。なお、本案は9日間の長期間にわたる実施となるが、このような長期間コンテストの例として、東海マラソンコンテスト(JARL 東海地方本部主催、7日間)、泉州サバイバルハムクラブコンテスト(泉州サバイバルハムクラブ主催、11日間)*3が挙げられる。
JA3KDJ					元旦から3日まで	開催日程の延長は賛成。期間は3日間を要望。元旦から3日まで！20QSOについては従来通りで充分と思慮しています。年始廻りなどで3日間が好いように思います。
JO1KTD					現行のまま	(現行のまま)期間を延長しても参加局密度が減って交信数の増加につながらない。現在でも2日夜から3日朝にかけての参加局数は少ない感じがする。また書き初めなど技芸を初めるのは正月2日という日本の伝統にも現行の日程は合致している。時間延長よりステッカー交付最低局数を10局あるいは5局などに減らすほうが参加を促すには効果的と考える。交信総局数増加のため、多局数交信の局には特別のステッカーを配布することとしてはどうか。
JA93182					現行日程で十分	万難を排して参加すればいいだけです。期間を1、2日長くしてもQSOのチャンスは同じですし、7日にもなれば他のコンテストとかぶります。
JR4VEV					現状から変更しない	現状でも1月2日の午後以降には、20局を達成した局が運用を中止してしまうことで参加局が減少し、QSO数を増やすことが難しくなる傾向があります。開催期間を延長することにより、現状よりも更に参加局が分散し、短時間で20局を達成することが一層難しくなると思います。
JH4OUH					現状の1/2 1/3を希望	参加局が減少している中、日程を延長すれば一日当たりの参加局がばらけて一層少なくなり、何日も運用しなくてはならなくなる。地方では、VUHFの運用局が少なく、移動運用しても相手局がいなくなり効率が悪く、ますます参加局が減少する。
JA1CTB					現状のままが良い	期間を長くしてもずっと参加できる人は少なく、返って参加日時が分散して相手に出会える確率が下がる可能性の方が高いと考えられます。相手探しが余計に困難になり、退屈または充実感の乏しいパーティーとなるので、変更しない方がよいです。ほかに、年賀の挨拶したいパーティーですので、何かオンラインで出ている周波数やログやQRVよ予定時間などを他局から参照できるようなウェブサービスなど作っていただければ、確実に効率よく会いたい局と交信可能になって楽しいと思います。その仕組みを拡張して、eQSLやアワードの発行、(コンテストロギングのリアルタイム審査化など)にも繋がられるのではないのでしょうか！？
JP3ELG					現状のままで良いと思います。	期間を長くすればするほど分散してしまい、QSOが難しくなると思います。ですので、現状のままで良いと思います。それよりも、20局を15局に減らした方が効果的かと思います。
JH1PVJ					従来通りでよい。	従来通りでよい。期間を長くすると参加はしやすくなると思うが、参加局の密度が減るため20局達成するのに時間がかかるようになると感じる。
JO2FZB					新年の日程変更はしないが、1月の祝日成人の日も追加して三日間	正し二日三日QSOパーティーで交信して局数が足りない及び当日(祝日)は成人以下また開局3年局(ハムッテ企画参考)は当日20局OK一巡十二支が終了した局は、個人申請で達成プレートのある、2巡目、24シール以降も新たに申請で新規プレートの作成
JA1XCZ/4					特に変更は望まない	
JH3IJF					特段に期間延長が必要とは思わない。	特段に期間延長が必要とは思わない。20局の制限を緩和すればいいと思う。
JR3EOI					日程については変更しない。	・日程については変更しない。 ・局数達成が難しいのならハードルを下げてほしいのではないかと。10QSOとか5QSOとか。 ・この際、20QSOというこだわりを無くしましょう。
JS1OYN					反対	期間を長くするとオンエア人口の密度が下がるだけ。20局が達成できるとは限らない。よって変更する必要は無いと考える。
JA3WDL					変更する必要はありません。	理由 変更する必要はありません。会員からの「異見」(誤字ではない)があるようですが与えられた時間帯の中で、どうやったら、20局交信が出来るか。参加局が考えることです。私は、国鉄・JR東海に勤めていました。年末年始の大輸送を担って来ました。出勤の日にあたることはしばしばあり、昼食や休憩時間を使って移動先(職場)から運用しました。私は、そのようにして来た、だから他の会員もその様にしたらどうか。と、言っている様にとれるのですが、会員からの泣き言の様な、「異見」を、委員会は聞かないようにしてください。まともさがつかなくなります。
JA5FNX					変更の必要なし	元日一日でも良いくらいです。
JO1LDY					変更案に反対し、現状のまま	その他(変更案に反対し、現状のまま)最近実家のある北茨城市から144MHzで参加することが多いのですが、スタート直後は多くの方が運用しておりますが、20局を終了した局が次第に運用しなくなり、20局を達成するのも厳しいのが現状。そのため居住している東京都23区内に戻って何とか達成しております。都内からスタート直後に運用すれば簡単にV/UHFでも20局は容易にできますが時間とともに運用局は減ります。現行でも3日目の夕方などはかなり厳しい現状です。4日以降は仕事始めなどで勤務になる方もおりますが、そもそも日程を伸ばしたからと参加局が増えるという考えはどこからきているのでしょうか。伸びても運用局数の増加は無いと考えます。これまでの期間でも運用局が終わった方から減っていく現状では伸ばすことによりさら達成が困難な方が出てくると思われます。逆にコストと手間がかかりますが、100局、200局賞などの正月限定のアワードなども発行されるならば運用を継続する方も少なからずいらっしゃるのではないかと考えます。
JH0TIS					変更案のどれでもよい。	あえていえば、その他延長することに賛成。どの案でもよい。
JH5GHM					特に意見なし	これまで参加したことがなく、意見を待ち合わせていないため。



コールサイン	2日-4日	2日-5日	2日-6日	2日-7日	その他	理由
JJ4KME					特にコメントなし	延長されること自体に賛成のため
JR2IGA					特段の意見はありません。	
JF3EBO					意見なし	
7K1PEO					意見なし	
JI3MIK					特に意見なし	